

市民文芸

短歌

阿南市文化祭秋季短歌大会選

互選1位

小田 和子

終戦日陛下のお言葉我が父も御霊と呼ばれ平成終わる

互選2位

倉橋壽満子

項に姫神在す津乃峰山ふもとの池に土器ねむらせて

入選

入谷五十鈴

ジンジャーの白き花の香その中に包まれている雨の日の午後

入選

佐坂 恵子

道ひとつ曲がりそびれて見たことも無き教会が現れて来る

入選

松本加代子

白みくる東の窓を開け放つ雨なれど訪わん老いしはらから

入選

佐々木夫美

今日ひと日心のままに生きようと決めし朝の陽光まぶし

入選

中原きみ子

草の実をつけてもどり来幼子の体力あます靴裏返る

入選

吉永賀代子

不意に落つ青柿ひとつ跳ねてくる太宰はこれをみていただろうか

俳句

阿南市俳句連合会選

赤ちようちんしみじみ酌めば初時雨 東條 明宏

旅の人案山子に道を尋ねをり 河野千枝子

無人駅に昭和残りり冬日和 青木 慧

冬薔薇紅深く乾きけり 阿部ますみ

風にのる潮の香りや海桐の実 中野 郁

パラグライダー降りる山里冬うらら 大西 裕子

冬夕焼ビル工事今六階目 藤本 弘子

登校の子等の数だけ息白し 宮繁ただし

熟女らが色香ほんのり冬座敷 多田紀久代

記念日の夫のメモ書き古曆 土肥つや子

川柳

阿南川柳会 鈴木レイ子選

名水というブランドで洗う罪 さつま浪漫

トイレ音うるさい中に吸い込まれ 橋本 征介

眼に悪いともきつちり読んでおく 原 公美子

平凡に言うことなしに日は暮れる 田上 鶴子
戦中派の蟻が支えてきた地球 野村 敏子
風呂敷にうるさい気持ち包み込む 二階千代美

一般応募

昨日より若く生きると前を向く 島尾美津子
これからは私輝く大人女子 仁井 信子
笑い袋破裂しそうなクラス会 武田 敏子
わくわくと新元号を待ち望む 吉田 當代

漢詩

阿南漢詩研究会・青松吟社選

新年作

瞳瞳旭日瑞雲中 瞳瞳たる旭日 瑞雲の中 井関喜久子
天地呈祥淑氣籠 天地 祥を呈して 淑氣籠む
喜壽迎春詩骨健 喜寿 春を迎えて 詩骨健なり
門前松竹太平風 門前の松竹 太平の風

偶作

樹搖寒影耐朔風 樹は寒影を揺がして 朔風に耐え 大地 和子
花待春光未作紅 花は春光を待ちて 未だ紅を作さず
久坐苦吟奈才薄 久しく坐すも苦吟 才の薄きを奈せん
已成夕照紙窗中 已に夕照と成る 紙窓の中

江戸城両雄対決

虎竜談判脱干戈 虎竜の談判 干戈を脱し 市田 嘉則
無血開城避大過 無血 開城 大過を避く
八百八街免焚毀 八百 八街 焚毀を免れ
文明改革喚平和 文明改革 平和を喚ぶ